

## お知らせとお願い

---

当番世話人：吉治 仁志（奈良県立医科大学消化器・代謝内科 教授）

会 期：2024年3月22日（金）

会 場：京都烏丸コンベンションホール

〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634

(<https://www.karasuma.conventionhall.jp/>)

参加費：5,000円（事前登録・事前振込）

開催形式：現地開催

第42回サイトプロテクション研究会は、現地のみでの開催にあたり、ご留意いただきたい事項についてご案内いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■参加方法

#### ①申し込みサイトでの事前登録

本会は事前参加登録制とさせていただきます。

参加申込サイトにて事前登録のうえ、参加費の納入をお願いいたします。

#### ②当日の参加方法

受 付：午前8時から会場前にて行います。受付にて名札をお受け取りください。

### ■座長の先生方へ

- 1) ご登壇の30分前にはご来場ください。司会の方法についてご説明します。
- 2) 開始予定時刻の10分前には、次座長席にお着きください。
- 3) 萌芽的研究・一般演題ともに発表7分・討論3分です。時間厳守にご協力ください。

### ■演者の先生方へ

- 1) 発表者（共同演者も含む）は研究会の会員に限ります。
- 2) 発表データを当日PC受付にて提出をお願いいたします。  
※会場でスライド上映のために使用するPCが「Windows」であるため、「Mac」でデータを作成された場合は、「Windows PC」で動作／フォント／文字化けをご確認の上、データをご提出ください。  
※発表データに動画を含む場合：動画のファイル形式はmp4をお願いいたします。

- 3) ご登壇の30分前にはご来場ください。口演の方法についてご説明します。
- 4) 発表予定時刻の10分前には、次演者席にお着きください。
- 5) 萌芽的研究・一般演題ともに発表7分・討論3分です。時間厳守にご協力ください。

#### ■聴講の先生方へ

##### 1) 質疑応答・討論について

- ①討論者は座長の許可を得たうえで、所属・氏名を明確に述べ、時間に配慮しながら簡潔に討論を進めてください。
- ②討論にはプロジェクターを用いしないでください。

#### 【第42回サイトプロテクション研究会 主催事務局】

奈良県立医科大学 消化器・代謝内科  
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地  
TEL：0744-22-3051（代表）  
事務局長：西村典久

#### 【第42回Cytoprotection研究会 運営事務局】

〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634  
株式会社コンベンションリンクージ内  
TEL：075-231-6357 FAX：075-231-6354  
E-mail：cytopro42@c-linkage.co.jp

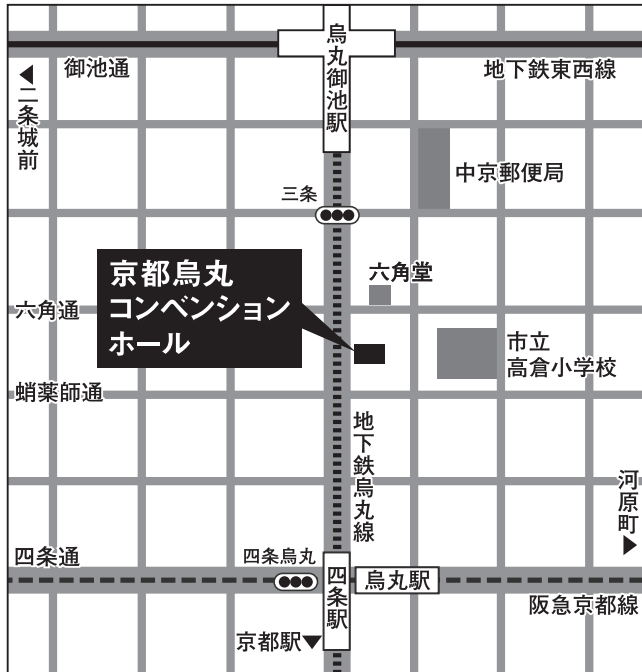
#### 【サイトプロテクション研究会 事務局】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465  
京都府立医科大学生体免疫栄養学講座内  
E-mail：cytopro@koto.kpu-m.ac.jp  
HP：http://gakkai.umin.jp/cytoprotection

## 会場のご案内

京都烏丸コンベンションホール

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634



## 第42回サイトプロテクション研究会プログラム

8：30～9：20	モーニングセミナー 演 者：河田 則文	座 長：吉治 仁志 共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
9：20～9：25	休 憩	
9：25～9：30	開会の挨拶	当番世話人：吉治 仁志
9：30～9：35	総 会	
9：35～10：05	萌芽的研究1 萌芽1-1～3	座 長：藤原 靖弘
10：05～10：35	特別講演 演者：井上 正康	座 長：樋口 和秀
10：35～10：40	休 憩	
10：40～11：30	コーヒープレイクセミナー 演 者：鈴木 秀和	座 長：日浅 陽一 共催：大正製薬株式会社 ジオフェルミン製薬株式会社
11：30～11：35	休 憩	
11：35～12：05	萌芽的研究2 萌芽2-4～6	座 長：杉本 光繁
12：05～12：45	萌芽的研究3 萌芽3-7～10	座 長：吉田 昌
12：45～12：50	休 憩	
12：50～13：50	ランチョンセミナー 演 者：内藤 裕二	座 長：片岡 洋望 共催：ミヤリサン製薬株式会社
13：50～13：55	休 憩	
13：55～14：55	一般演題1～6	座 長：中村 正彦 笠原恵美子
14：55～15：00	休 憩	
15：00～15：50	アフタヌーンセミナー 演 者：三輪 洋人	座 長：塩谷 昭子 共催：武田薬品工業株式会社
15：50～15：55	休 憩	
15：55～16：10	エキスパートフォーラム エキスパート1	座 長：武藤 倫弘
16：10～16：25	エキスパートフォーラム エキスパート2	座 長：春日井邦夫
16：25～16：40	表彰 閉会の辞	

## 第42回サイトプロテクション研究会 プログラム

---

2024年3月22日（金）8：00～16：30

京都烏丸コンベンションホール

モーニングセミナー 8：30～9：20

座長：吉治 仁志（奈良県立医科大学消化器・代謝内科  
教授）

「脱肝線維化の分子メカニズムとHCV駆除の有用性」

河田 則文

（大阪公立大学大学院医学研究科）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

休憩 9：20～9：25

開会の挨拶 9：25～9：30

当番世話人：吉治 仁志（奈良県立医科大学消化器・  
代謝内科 教授）

総会 9：30～9：35

萌芽的研究1 9：35～10：05

座長：藤原 靖弘（大阪公立大学消化器内科学 教授）

萌芽1-1 腸炎における腸管粘膜ケトン体合成酵素HMGCS2の機能解析

○横田佳大、西田淳史、大野将司、大槻晋士、今井隆行、安藤 朗  
（滋賀医科大学 消化器内科）

萌芽1-2 NSAIDs起因性小腸傷害における好中球細胞外トラップ

（neutrophil extracellular traps: NETs）と腸内細菌の役割

○森山榮治<sup>1</sup>、灘谷佑二<sup>2</sup>、東森 啓<sup>1</sup>、渡邊俊雄<sup>2</sup>、藤原靖弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学、

<sup>2</sup>大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学）

萌芽1-3 Interleukin-13は、NSAIDsによる小腸粘膜障害を誘発する

○原 勇輔<sup>1</sup>、川島 麗<sup>2</sup>、玉木 竣<sup>2</sup>、前川達則<sup>2</sup>、市川尊文<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科 臨床医科学群 消化器内科学、

<sup>2</sup>北里大学大学院医療系研究科 分子病態学群 生体制御生化学)

特別講演

10:05~10:35

座長：樋口 和秀 (医療法人ラポール会青山病院 理事長)

「新型コロナウイルス感染病態と遺伝子ワクチンの意味論」

○井上正康<sup>1</sup>、小西菜普子<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>健康科学研究所・現代適塾、<sup>2</sup>大阪公立大学医学部)

休憩

10:35~10:40

コーヒープレイクセミナー 10:40~11:30

座長：日浅 陽一 (愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・  
内分泌・代謝内科学 (第三内科) 教授)

「腸脳相関病 (DGBI) のサブタイプ間オーバーラップ症候群の病態生理：  
腸内細菌叢にも注目して」

鈴木 秀和

(東海大学医学部医学科内科学系消化器内科学)

共催：大正製薬株式会社／ビオフェルミン製薬株式会社

休憩

11:30~11:35

萌芽的研究2

11:35~12:05

座長：杉本 光繁 (大分大学 グローカル感染症研究センター  
教授)

萌芽2-4 原発性胆汁性胆管炎患者の回腸粘膜関連細菌叢と病態との関連

○新居田一貴<sup>1</sup>、北畑翔吾<sup>2</sup>、山本安則<sup>3</sup>、池田宜央<sup>3</sup>、阿部雅則<sup>1</sup>、

日浅陽一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学、

<sup>2</sup>愛媛県立中央病院 消化器内科、

<sup>3</sup>愛媛大学医学部附属病院 光学医療診療部)

萌芽2-5 フェロトーチスによる臓器障害を保護する新規化合物のスクリーニング  
○本間拓二郎、川尻柊斗、廣谷碧美、松永慎司、富田修平  
(大阪公立大学医学研究科分子病態薬理学)

萌芽2-6 社会的敗北ストレスが身体臓器の遺伝子発現に及ぼす影響  
～社会的交流行動との関連性の検討～  
○坂本拓巳、西川由依菜、水野欧祐、笠原恵美子、堀 美香、  
関山敦生  
(大阪大学大学院薬学研究科 先制心身医薬学寄附講座)

萌芽的研究3 12:05～12:45  
座長：吉田 昌 (国際医療福祉大学病院 外科 教授)

萌芽3-7 隣神経内分泌腫瘍におけるオートタキシンのバイオマーカーおよび  
治療ターゲットとしての可能性  
○豊原祥資<sup>1</sup>、吉田道弘<sup>1</sup>、宮部勝之<sup>2</sup>、鬼頭佑輔<sup>1</sup>、久野佳世子<sup>1</sup>、  
安達明央<sup>1</sup>、佐橋秀典<sup>1</sup>、加地謙太<sup>1</sup>、加藤晃久<sup>1</sup>、堀 寧<sup>1</sup>、  
片岡洋望<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学、  
<sup>2</sup>日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 消化器内科)

萌芽3-8 臨床応用を目指したアスピリンによる腸発がん抑制効果とマーカー  
探索研究  
○鱧屋隆博、宮本真吾、武藤倫弘  
(京都府立医科大学大学院・医学研究科・分子標的予防医学)

萌芽3-9 SATB2およびCDX2免疫組織染色による大腸癌の分類と診断的有用性  
の解析  
○加藤駿介<sup>1</sup>、越野 顕<sup>1</sup>、海老正秀<sup>1</sup>、小笠原尚高<sup>1</sup>、稲熊真悟<sup>2</sup>、  
春日井邦夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>愛知医科大学病院 消化管内科、  
<sup>2</sup>名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 病理診断科)

萌芽3-10 免疫チェックポイント阻害剤投与による腸内細菌叢への影響についての検討

○西田光志<sup>1,2</sup>、平田有基<sup>1</sup>、樋口和秀<sup>1,3</sup>、西川浩樹<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 内科学II、<sup>2</sup>大阪回生病院 消化器内科、<sup>3</sup>医療法人ラポール会)

休憩 12：45～12：50

ランチョンセミナー 12：50～13：50  
座長：片岡 洋望 (名古屋市立大学)

「医師のための栄養学セミナー」

内藤 裕二

(京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授)

共催：ミヤリサン製薬株式会社

休憩 13：50～13：55

一般演題 13：55～14：55  
座長：中村 正彦 (東海大学医学部 客員教授)  
笠原恵美子 (大阪大学大学院薬学研究科先制心身  
医薬学寄附講座 講師)

一般1 Ferroptosisが近赤外線応答性解糖系阻害剤内包ナノ粒子製剤による  
肝がん抑制作用に及ぼす影響の検討

○仁科惣治、佐々木恭、塩谷昭子

(川崎医科大学消化器内科学)

一般2 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNi) による肝線  
維化抑制効果と肝星細胞への影響

○鈴木淳也、鍛治孝祐、吉治仁志

(奈良県立医科大学附属病院 消化器代謝内科)



- 一般3 肝虚血再灌流傷害におけるP2X7の役割  
 ○吉田 理、盛田 真、矢野 怜、岡崎雄貴、今井祐輔、中村由子、  
 渡辺崇夫、小泉洋平、徳本良雄、廣岡昌史、阿部雅則、日浅陽一  
 (愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学)
- 一般4 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後ボノプラザン3週間内服  
 終了時における内視鏡所見とESD術後8週間における内視鏡所見に  
 ついて  
 ○須藤大輔<sup>1</sup>、吉田 昌<sup>2</sup>、佐藤貴一<sup>1</sup>、大竹孝明<sup>1</sup>、秋田貴之<sup>1</sup>、  
 大澤陽介<sup>1</sup>、一石英一郎<sup>1</sup>、大平寛典<sup>2</sup>、鈴木 裕<sup>2</sup>、高後 裕<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院消化器内科、<sup>2</sup>国際医療福祉大学病院外科)
- 一般5 急性出血性直腸潰瘍の再出血リスク要因の検討  
 ○上田 孝、出口隆造、佐藤博彦、金子元基、佐野正弥、寺邑英里香、  
 藤澤美亜、松嶋成志、鈴木秀和  
 (東海大学 医学部 内科学系消化器内科学)
- 一般6 小腸閉塞の原因同定における小腸カプセル内視鏡検査の有用性：  
 前向き観察研究  
 ○新倉量太<sup>1</sup>、山田篤生<sup>2</sup>、杉本光繁<sup>1</sup>、岩田英里<sup>1</sup>、濱田麻梨子<sup>1</sup>、  
 永田尚義<sup>1</sup>、秋本佳香<sup>1</sup>、河合 隆<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>東京医科大学 消化器内視鏡学、  
<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院 消化器内科)
- 休憩 14：55～15：00
- アフタヌーンセミナー 15：00～15：50  
 座長：塩谷 昭子 (川崎医科大学消化器内科学 教授)
- 「症状コントロールと再発抑制からみた逆流性食道炎初期治療の考え方」  
 三輪 洋人  
 (川西市立総合医療センター 総長)
- 共催：武田薬品工業株式会社
- 休憩 15：50～15：55

エキスパートフォーラム 15：55～16：10

座長：武藤 倫弘（京都府立医科大学分子標的予防医学  
教授）

エキスパート1

粘膜遺伝子発現からみた潰瘍性大腸炎の再燃病態に関する検討

○内山和彦<sup>1</sup>、高木智久<sup>1</sup>、水島かつら<sup>2</sup>、村上瑛基<sup>1</sup>、朝枝興平<sup>1</sup>、  
小林玲央<sup>1</sup>、井上 健<sup>1</sup>、内藤裕二<sup>2</sup>、伊藤義人<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>京都府立医科大学消化器内科、<sup>2</sup>京都府立医科大学学生体免疫栄養学）

エキスパートフォーラム 16：10～16：25

座長：春日井邦夫（愛知医科大学内科学講座（消化管内科）  
教授）

エキスパート2

MAFLD/MASHマウスモデルを用いたフィトケミカル含有食品  
エゾウコギの基礎検討

○河野 豊<sup>1,2</sup>、友成 哲<sup>1</sup>、佐藤康史<sup>1,3</sup>、高山哲治<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>徳島大学大学院 医歯薬学研究部 消化器内科、

<sup>2</sup>同 実践地域診療・医科学、<sup>3</sup>同 地域消化器・総合内科学）

表彰 閉会の辞

16：25～16：40